

ひがし 東 やす 保 ゆき 幸

この議会だよりは地域のこと、子育てや福祉、環境のことなど、今必要なことを
提言し、みなさまと一っしょに考えていくために発行したものです。
出会いとつながりをモットーに活動する県議会議員です。

No.29
2017年
4月1日

発行／東 保幸
〒739-1751
広島市安佐北区深川2丁目51-20
電話 082-843-5403
FAX 082-841-4870
メールアドレス y-higashi@mocha.ocn.ne.jp
ブログ ヤフー・ブログ
東 保幸 検索
リンク：<http://www.mgr.co.jp/higashi/>

新年度一般会計予算9,779億円を決定しました 広島から地方創生 まちの創生 ひとの創生 仕事の創生をめざす

2月定例会

2月定例会は2月16日から3月15日まで開催されました。本県を取り巻く情勢は、県内景気は、設備投資、住宅投資は緩やかに増加し、生産は横ばいの動きが続き、個人消費も底堅く推移するなど、これまでの産業の競争力強化、産業人材の育成・集積などに取組んできた成果が現われつつあり、この4年間で約7%の成長率で回復基調を続けています。しかし、より多くの県民の皆さまが景気回復を実感できるようにすることが最重要課題です。

世界の動きには不透明さがありますが、県内景気の回復を確かなものにしていくため、「新たな経済成長」「人づくり」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」という4つの柱に沿い、広島から地方創生を展開するために新たな人の流れを作っていきます。新年度予算の編成にあたり県が果たすべき県内23市町に対する先進性・広域性・補完性という役割をしっかりと認識し、知事執行部と県議会が緊張感を持って審議を行いました。

主要施策の概要

「成育環境の違いにかかわらず、全ての子どもが健やかに夢を育むことのできる社会」

あなたの身近で働いています

実現のために以下の施策に取り組めます。

- 子どもの生活実態調査の実施（1,300万円）
- 学びのセーフティーネット構築の検討（300万円）
- ひろしま版ネウボラ（妊娠・出産・子育てができる環境整備と切れ目のないサポート）
- 保育施設の整備と保育士の人材確保（7,800万円）
- 遊び 学び 育つひろしまっ子推進プラン（乳幼児の教育・保育の考え方と実現）（2,800万円）

「個人の状況やライフスタイルに応じた多様な働き方の促進」をするため以下の施策に取り組めます。

- 企業の優良事例の見える化と経営者層の意識改革と推進人材育成（1億円）
- 女性のキャリアアップ人材育成とわーくわくママサポート（1億2,400万円）

県政に対するご意見・ご要望をお寄せください

「雇用や強い地域経済をつくるためのイノベーションの加速」をするため以下の施策に取り組みます。

- 生産性の向上と新たな価値の創造に向け新規事業の創出（3億2,600万円）
- 起業の活発化に向けたひろしま創業サポートセンターによる支援（2億7,800万円）
- 多様な投資誘致の促進（43億7,000万円）
- 医療関連分野と環境浄化分野の振興
（3億8,500万円）
- 海外販路拡大・世界と直結するビジネス
（3億8,500万円）
- 観光地ひろしま推進事業（3億9,100万円）
- ひろしま型農業の創出と経営者と新規就農者育成（1億5,200万円）
- ひろしまの森づくり事業推進（5ヵ年延長して森林整備・里山整備実施）
- 農産物生産供給体制強化事業
（1億2,700万円）

「都市の魅力向上と中山間地域の地域力強化」に向けて以下の施策に取り組みます。

- ひろしま さとやま未来博2017
（1億2,700万円）
- 広島市都心部の中枢拠点の魅力向上
（1,000万円）
- サッカースタジアム候補地検討（400万円）
- 広島西飛行場跡地利用計画の策定（700万円）

その他の施策

- 「広島で学んで良かった」と思える教育県の実現（63億円）
- 県外大学生の県内へのUIJターン就職の促進
（3,900万円）

- 地域医療構想に基づく安心の医療・介護提供体制（50億4,900万円）
- がん対策日本一（検診、継続就労）
（6,300万円）
- 健康寿命の延伸のための保健指導やヘルスケアポイント（400万円）
- 国民健康保険の制度改革（保険料の公平性確保）
（37億8,800万円）
- 交通事故死75人以下（アンダー75）
- 観光客増による地域経済活性化（東京オリンピック・パラリンピック選手団受入れ）
（2,300万円）
- 土砂災害警戒区域等の指定（377小学校区のうち190着手、新年度36小学校区）
（4億円）
- 減災防災活動「知る」取組み（2,760万円）
- ひろしまの魅力発信と認知・評価向上
（4,700万円）
- 東京圏から広島への移住促進（移住希望者への情報提供とマッチング）（7,500万円）
- 平和への希望が集う場所（NPT運用再検討会議準備会でも発信）（6,000万円）



12月議会閉会日、9日間にわたって行われた審査を報告

「指摘された事項が新年度予算や事業執行に十分留意することを要請」

常任委員会

新年度施策について以下、問いただきました。

福祉医療費公費負担制度の拡充について

県内23市町は、児童生徒の通院・入院の医療費負担が年齢によって異なっており課題です。県内どこに住んでいても変わらない公平な負担となるように段階をおって制度の拡充を要望しました。子育て支援に向けて制度の拡充には国の支援も必要です。

子どもの生活実態調査

6人に1人の割合で子どもが貧困状態におかれているとされ、広島県も全国平均です。子どもの貧困の社会的損失推計によると、子どもの貧困を放置することによる社会的損失は所得税、社会保障等合せて42兆円という報告が出されました。新年度、県は初めて「子どもの生活実態調査」を実施。本会議で知事は「ひとり親家庭の大学進学率が大変厳しい。家庭の経済的な事情が学力に影響している。また、子どもの貧困は見えにくく、世代を超えて連鎖するという特性がある。早期に対策を講じる必要がある」と答弁しました。見えない貧困に見える化し、必要な施策を展開する必要があります。

広島県アルコール健康障害対策推進計画について

アルコール健康障害は、本人の健康の問題だけでなく、家族への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険度が高くなっています。そのため正しい知識の普及による発生予防、誰でも相談できる進行予防そして医療との連携による回復・社会復帰という再発予防という方向で適切な支援体制を構築します。

その他、広島版ネウボラ（妊娠・出産・子育てを保健師や子育て支援員がセンターを中心に家庭訪問などにより切れ目のない支援を行う）、性被害ワンストップ支援センター支援員の拡充および相談能力向上に取り組めます。

特別委員会

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

この5年間の年次計画は、人口減少問題を克服し、地方の活性化を進めるものです。そのため、まちの創生・ひとの創生・しごとの創生の3つから構成され、ひろしま未来チャレンジビジョンが進める新たな経済成長、人づくり、豊かな地域づくりの呼応するものです。

広島県の課題は、大学進学および就職時の県外流出です。転出超過が続いており、県内大学や企業の魅力をアピールすること、人口減少・少子高齢化、生産労働人口減少という社会構造を見据え、さらにそれを補う生産性向上の施策展開が求められています。既に導入されているロボットに加えてAI（人工知能）が急速に労働現場に入ってくることが予想されます。

決議書

NPT 運用検討会議における核軍縮・核不拡散のさらなる推進に向けた合意文書の採択を求める決議

2016年5月、オバマ前大統領訪問により核兵器廃絶に向けた機運が高まる中、取組みを確かなものとするため、今年5月にウィーン軍縮核不拡散センターを知事・議会訪問団を派遣します。広島県民の声として決議を採択しました。

意見書

介護職員の人材確保の強化を求める意見書

今後も要介護・要支援認定者数の増加が見込まれ、介護人材の不足が懸念されます。介護職員の処遇改善、労働環境整備を求める意見書を採択しました。

決算特別委員会

委員長選任 厳正な審査を行いました

委員長に選任され、厳正な審査を行いました。

9月定例会中の9月27日に設置された決算特別委員会は、「平成27年度広島県歳入歳出決算認定」等について10月4日から11月22日まで9回にわたって審査を行いました。決算特別委員会は委員16人で構成され、私は委員長に選任されました。総務局、健康福祉局、土木建築局、公安委員会、教育委員会、農林水産局、商工労働局の局別審査、そして知事出席のもと総括審査において中期財政健全化計画、少子化対策及び子育て支援、災害対策、活力ある農林水産業、広島空港利用促進、幼児教育の充実、交通安全施設整備、観光客受け入れ環境整備等、1兆円を越す一般会計の重点施策の効率的な予算執行とその成果について熱心な審議を行い、採決の結果、決算特別委員会で認定され、その後にかかれた12月定例会本会議においても認定されました。長時間・長期間にわたる審査でしたが委員長という重責を果たすことができました。新年度予算の審議を行う2月議会に反映させ、さらなる県勢進展、県民福祉向上に向けて汗を流していきます。



決算特別委員会委員長に選任され、職責を果たしました。

予断ですが、農林水産局審査の際、地震が発生、数人の携帯が「ジシンです！ジシンです！」と警報を発しました。老朽化した県庁で一瞬、机の下に避難すべきか、一同顔を見合わせました。結局、震度2の揺れ1回で収束しました。

災害防災対策(安佐北区分)

- ・2014年8月20日発災の土砂災害復旧事業
根の谷川支川99・根の谷川支川60・桐原501地区
- ・2010年7月14日発災の矢口地区大規模床上浸水対策事業
太田川矢口地区流域治水対策(国交省直轄事業)

編集後記

県民の皆さまの負託を受けて新年度予算を審議しました。県経済は堅調に推移しているとはいえ、アメリカの新大統領誕生、イギリスのEU離脱はじめ、各国が保護主義に走り始め、見通しの立たない世界経済と言われています。広島県の2015年の輸出総額は2兆3,768億円、自動車、鉄鋼、機械、化学製品を中心に35%がアジア、26%が北米、アメリカ合衆国は6,245億円。

一方、輸入は、1兆1,313億円で鉱物燃料、原料品など55%をアジアが占め、アメリカ合衆国からは599億円で5.3%、木材、石油製品、とうもろこし、パルプなどです。世界経済は政治の動きとは異なって緊密に繋がっており、相互依存・国際協調を深めることが世界の安定そして広島の経済の発展に必要なということが見えてきます。

国際平和をはじめ、広島県の果たすべき役割を痛感します。

あきらめない。歩みを止めない。広島のために。